



Facet Cloud

サービス操作説明書

Ver 3.1

DataScope, Inc.2022



改訂履歴

改訂履歴	発行日	対応 API 製品バージョン
Ver.1.0	2021/04/01	Ver1.0
Ver 2.0	2021/05/06	Ver2.0
Ver 2.1	2021/10/18	Ver2.1
Ver 2.5	2022/01/26	Ver2.5
Ver 3.1	2022/04/15	Ver3.1

目次 —CONTENTS—

1. はじめに.....	6
1-1. 「Facet Cloud」について.....	6
1-2. 関連ドキュメント.....	6
1-3. サービス活用イメージ	6
1-4. サポートについて.....	6
2. 機能概要.....	7
2-1. 推奨ブラウザ／PC スペック	7
2-2. 機能一覧	7
2-3. 画面一覧	8
3. ログイン	10
3-1. ログイン／ログアウト.....	10
3-2. パスワード変更	10
4. トップ画面（ダッシュボード）	11
5. リアルタイムモニタ	12
5-1. コレクションビュー	12

5-2. グリッド一覧形式.....	13
6. ログ一覧.....	14
7. ユーザー登録・変更.....	15
7-1. 新規ユーザー登録.....	15
7-2. ユーザー情報一覧・変更.....	16
7-3. 一括ユーザー登録.....	16
7-4. ユーザーデータのエクスポート.....	17
7-5. カメラデータ移行・当て替え	17
7-6. カメラデータの移行・当て替え(個別ユーザーに対する割り当てカメラの変更(削除・追加))	18
8. 端末設定.....	20
8-1. 端末画面タブ一覧	20
8-2. カメラグループ設定	20
8-3. カメラ設定.....	21
8-4. 認証関連基本設定・更新	22
8-5. 認証関連設定割当.....	27
8-6. システム基本設定・更新	28

8-7. システム設定割当	29
8-8. アラーム設定	30
9. ログイン ID 管理	32
9-1. 権限作成	32
9-2. 新規登録	33
9-2. 変更・削除	34
10. 端末メンテナンス	35
10-1. カメラ接続初期化	36
10-2. カメラ新規登録	37
10-3. カメラ削除	38
11. 操作ログ	39
11-1. facet ログ	39
11-2. FaceFC ログ	40
12. お問い合わせ先	40

1. はじめに

1-1. 「Facet Cloud」について

「Facet Cloud」(以降、「本サービス」と記載)は、株式会社データスコープ(DataScope, Inc. (以下、「当社」または「弊社」といいます))の登録商品です。

Face FC 端末の情報をクラウド上に蓄積し、Web ブラウザで閲覧することができるサービスです。

※本サービスの利用効果を得るためには、Face FC 端末の設置が必要です。Face FC 端末の設置方法、接続設定については Face FC 端末の操作マニュアルをご参照ください。

1-2. 関連ドキュメント

表 1-1 関連ドキュメント一覧

SQ	ドキュメント名	内容	本仕様書での呼称
1	利用規約	本サービス契約利用に関する一切の事項に適用される約款	記載なし
2	サービス概要書	本サービスの基本概要をまとめたもの	記載なし
3	操作マニュアル	管理ポータルでの操作方法を記載したもの	本マニュアル
4	プライバシーポリシー	本サービスの運営に伴う情報取扱いポリシー	記載なし

1-3. サービス活用イメージ

本サービスをご利用いただくと、Face FC 端末にて取得可能な情報を、Web 上のインターフェースで直感的に閲覧・把握することができます。Face FC にて取得可能な情報を利用して、施設利用者に対する個人認証や、通行許可／不許可を判定できる他、温度検査、マスク着用有無、従業員の勤怠管理などを一元的に管理することができます。

1-4. サポートについて

- ◆ 本サービスに関するお問い合わせは、営業ご担当者様までお問い合わせください。
- ◆ 窓口時間帯：各販売代理店の営業時間

2. 機能概要

2-1. 推奨ブラウザ／PC スペック

◆推奨ブラウザ：Facet Cloud は、以下のブラウザで最適に動作します。

ブラウザタイプ	最適動作ブラウザ
Google	Google Chrome
Microsoft	Microsoft Edge (Chromium)

※上記記載以外のブラウザにては、最適に動作しない可能性があります。

例) Safari, Firefox など

◆推奨動作環境

項目	動作環境	
クライアント PC 環境	OS	Windows 10
	メモリ	4GB 以上
	画面解像度	横：1300 pixel 以上
	その他	通信環境が安定している環境からアクセスしてください。 ブラウザや OS については、最新バージョンを保つようにしてください。

2-2. 機能一覧

Facet Cloud では、以下の基本機能をご利用いただくことができます。

1	Face FC 端末の コントロール	本サービスに接続された Face FC 端末設定を行い、各端末を一元的に コントロールすることができます。	本マニュアルすべて
2	人物顔認証	端末が人物として認識した個体の顔画像を記録、識別することができま す。 ※本サービスに接続された FaceFC 端末と情報を連携し、直感的なイン ターフェース上で登録・認証情報を確認できます。	ログ一覧：第 6 章 ユーザー登録・編集：第 7 章
3	入場者マスク着用 状況把握	本サービスに接続された Face FC 端末と情報を連携し、各端末が認識 した個人のマスク着用状況を各端末の閾値設定と照合させながら、確認 することができます。	リアルタイムモニタ：第 5 章 ログ一覧：第 6 章 閾値設定：第 8 章(8-3, 8-4)

4	異常発熱検知状況把握	本サービスに接続された Face FC 端末と情報を連携し、各端末が認識した個人の発熱状況を、各端末の閾値設定と照合させながら、確認することができます。	リアルタイムモニタ：第 5 章 ログ一覧：第 6 章 閾値設定：第 8 章(8-3, 8-4)
5	ユーザー登録・編集	本サービスに接続された各端末について、特定個人として識別すべきユーザーを、顔情報と共に登録し、必要に応じてユーザー情報を編集することができます。	ユーザー登録・編集：第 7 章
6	ログ一覧	顔認証状況に基づく個人の入場状況一覧を把握することができます。	ダッシュボード：第 4 章 リアルタイムモニタ：第 5 章 ログ一覧：第 6 章
7	アラーム発報	特定の条件に合致する個人を認証した場合、アラーム(アラート)を出すことができます。	アラーム設定：第 8 章(8-7)
8	ログイン ID 管理	本サービスにログインするユーザーの管理をすることができます。	ログイン ID 管理：第 9 章
9	Face FC の初期化・登録・削除	本サービス上へ接続されている Face FC 端末の新規登録や削除をすることができます。	端末メンテナンス：第 10 章
10	Face FC 端末及び、本サービスの操作ログ取得	Face FC 端末での操作や本サービスでの操作のログを確認することができます。	操作ログ：第 11 章
11	入退管理	本サービスに接続された端末に、入室用・退出用の設定を行うことができます。入・退出者数、在室者数の確認ができます。	入退管理：第 12 章

2-3. 画面一覧

Facet Cloud には、以下の画面が存在します。

SQ	画面名称	機能内容	本マニュアル参照
1	ログイン画面	本サービスにログインします。	第 3 章 (P.9)
2	ダッシュボード	ログイン後最初に表示される、基本画面です。 端末が取得した基本情報を、統計的に眺めることができます。	第 4 章(P.10)
3	リアルタイムモニタ	本サービスに接続された端末が、 最後に取得した画像と、取得可能情報を表示します。	第 5 章(P.11)
4	ログ一覧	本サービスに接続された端末が取得した情報一覧を、 閲覧することができます。	第 6 章(P.12)

5	ユーザー登録・編集	ユーザーを登録します。登録されたユーザーは、本サービスに接続された端末から、顔認証を用いて本人認証を行うことができます。	第 7 章(P.13)
6	端末設定	本サービスに接続された端末のコントロールや設定を行うことができます。①カメラ本体やカメラ機能に関する設定、②認証条件に関する設定を行うことができます。	第 8 章(P.16)
7	ログイン ID 管理	本サービスにログインするユーザーの作成や編集、削除をすることができます。また、ユーザーごとの操作権限の作成も行うことができます。	第 9 章(P.30)
8	端末メンテナンス	本サービスに接続されている端末の削除や登録情報の初期化、端末の新規登録を行うことができます。	第 10 章 (P.35)
9	操作ログ	本サービスでの操作や、本サービスに接続されている端末で操作した際のログを確認することができます。	第 11 章 (P.38)
10	入退管理	本サービスに接続された端末ごとに入退室の機能を設定し、入退室者や在室者の数を表示します。	第 12 章 (P.40)

3. ログイン

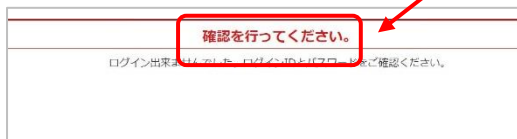
ログイン画面について、説明します。

3-1. ログイン／ログアウト



図 3-1-1 ↑ / ↓ 図 3-1-2

クリックで、ポップアップをどかすことができます。



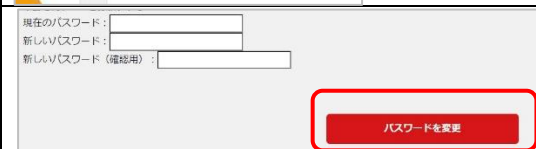
1. ログイン画面にアクセスし、ユーザーIDとパスワードを入力します。
2. ログインボタンを押します。
3. パスワードを忘れた場合は、ログインボタン下の「パスワードを忘れた方はこちら」をクリックしてください。
4. 入力したパスワードが間違っている場合、左図のようなポップアップが表示されます。
5. 「確認を行ってください」、もしくは右部に表示される下記アイコンをクリックして、ポップアップ表示を小さくし、パスワードボックスにパスワードを再入力してください。



図 3-1-3 ポップアップ縮小アイコン

3-2. パスワード変更

パスワードは、ログイン後、以下の手順で変更することができます。 図 3-2

ダッシュボード DataScope D-Scope	
1. ログイン後、画面上部に表示されるトップバーを確認。	
	2. トップバー右側に表示されている、ユーザー名をクリック。 左図のようなブルダウンが表示されます。 「パスワード変更」をクリック。
	3. 現在のパスワードと新しいパスワードを入力。 「パスワードを変更」ボタンをクリックします。

4. トップ画面（ダッシュボード）

ログインすると最初に表示される画面です。

サービスに接続された全ての端末の情報を、総合して統計的に閲覧できます。

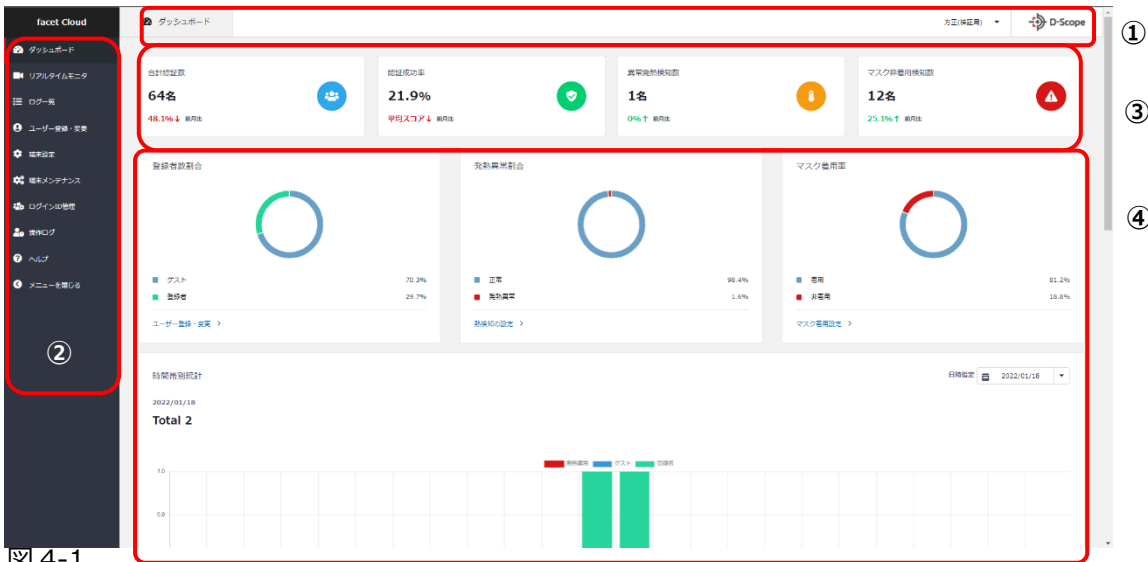


図 4-1

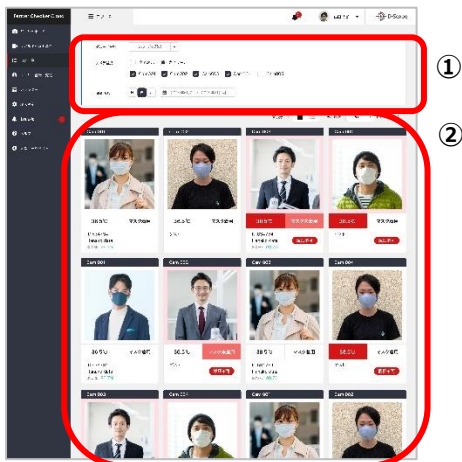
◆ダッシュボードは主に以下の要素で構成されています。

- ①トップバー：製品情報の他、ユーザー設定、ログイン／ログアウト、パスワード変更
- ②メニューバー：サービスを構成する各画面へのリンク
- ③統計情報：サービスに接続された全ての端末から得た統計情報を、数字で表示
- ④グラフ：各統計情報を視覚的に表現

5. リアルタイムモニタ

リアルタイムモニタでは、サービスに接続された全ての Face FC 端末が、最後に取得した画像を、一元的に閲覧することができます。

5-1. コレクションビュー



- ① フィルタリング機能：本サービスに接続された各端末が最後に取得した画像の中から、②に表示させたい特定のカメラ(またはカメラグループ)を指定することができます。
- ② 最終取得画像一覧：本サービスに接続された Face FC 端末のうち、フィルタリングで選択された全ての端末の

カメラ名、最終取得画像、体表温度、マスク着用有無、ID、氏名(※)、登録されている中で顔情報が最も近いユーザーとの「類似度(%)」(=スコア)を表示します。

図 5-1-1



- ③ ドア開錠：本サービスに接続された Face FC 端末に接続されているドアを強制的に開錠することができます。

図 5-1-2

5-2. グリッド一覧形式

本サービスに接続された Face FC 端末のうち、画面上部のフィルタリング機能で絞りをかけた(もしくは全ての)端末が、最後に取得した画像情報を、文字ベースで表示します。

(画像一覧形式と、グリッド一覧形式の切替は、表示形式切替アイコンをクリックします。)



グリッド一覧形式を表示するには、表示形式アイコンのうち、右側を選択します。

図 5-2-1

◆ リアルタイムモニタおよびログに表示される情報

リアルタイムモニタおよびログでは、以下の情報を閲覧することができます。

- ・検知した温度、マスク着用状況、検知日時、検知された人物の ID および氏名(未登録者の場合は「ゲスト」、登録者の場合のスコア(登録者の登録画像との類似度))



図 5-2-2

6. ログ一覧

ログイン後、画面左部にある「ログ一覧」をクリックします。

本サービスに接続されている全ての Face FC 端末から取得した情報一覧をログとして一元的に閲覧することができます。諸条件を設定して、表示結果にフィルタリングをかけることもできます。

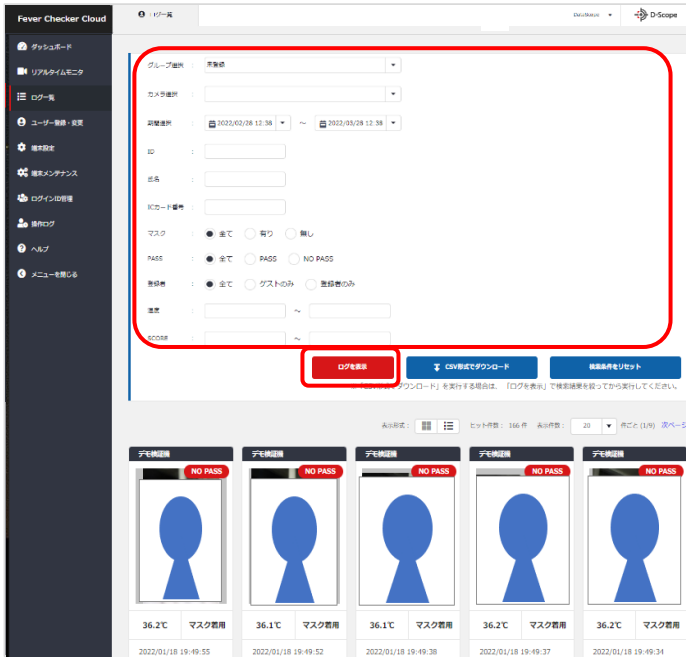


図 6-1

画面上部のフィルタリング機能で、検索結果のフィルタリングができます。

※特定のカメラグループもしくはカメラに、表示結果を絞ることができます。

◆画像一覧での表示

(表示形式切替 : )

ログ一覧を、顔画像で表示します。

カメラ名、顔画像、体表温度、マスク着用有無、日時、時間、ID、氏名、登録されている中で顔情報が最も近いユーザーとの「類似度(%)」(=スコア)を表示します。

◆グリッド一覧での表示 (表示形式切替 :)

(図 6-2)

カメラ名、認証方式、ID、氏名、IC カード番号、体表温度、マスク着用有無、通行許可／不許可、および「類似度」を表示します。



図 6-2

◆CSV 形式でダウンロード

CSV 形式でログ情報をダウンロードできます。

認証画像を含めてログ情報をダウンロードしたい場合は、「CSV 形式(画像あり)でダウンロード」にて取得ができます。

フィルタリング機能で、検索結果をフィルタリングすることによりダウンロード対象を絞ることができます。

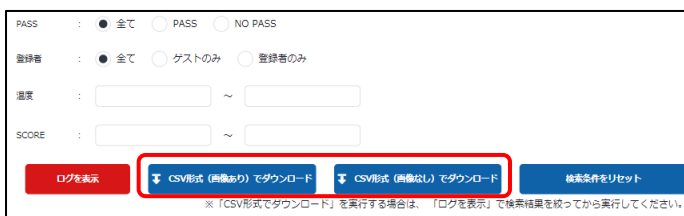


図 6-3

7. ユーザー登録・変更

組織として管理すべきユーザーの情報を登録・編集することができます。

本サービスに接続している Face FC 端末が、ある顔を、特定の個人データと紐づける（＝管理可能な形で個人特定する）には、端末への当該ユーザーの顔画像と属性情報の登録が必要です。

ここでは、本サービスへのユーザー登録と、情報編集、削除の仕方を説明します。

7-1. 新規ユーザー登録



端末が特定人物として認識すべき個人を、ユーザーとして登録します。

1. 「新規ユーザー登録」タブをクリックします。
2. 任意の ID を登録します。(必須)
※後から変更できないため、注意してください。
3. 登録者氏名を入力します。(必須)
4. 登録者生年月日(任意)を入力します。
5. IC カード情報(任意)を入力します。
6. 顔画像を登録します。(顔認証に必須)

※JPEG 画像を登録することができます。推奨サイズは、1000 x 1000pixel 以上です。撮影ガイド（リンク先からアップロード可）を参考にしてください。

図 7-1-1



6. 特定のカメラグループをプルダウンから選択、もしくはカメラのチェックボックスにチェックを入れ、「登録」を押します。(★部)

7. 対象のカメラ端末にて当該個人が識別可能になります。

※顔画像の推奨サイズなどは、「登録画像の撮影ガイド(PDF)」をダウンロードして、ご参照ください。

図 7-1-2

7-2. ユーザー情報一覧・変更

端末に登録した人物の情報を編集することができます。



1. 画面左部の「ユーザー登録・変更」をクリックし、「ユーザー情報一覧・編集」タブを開きます。
2. 「全て表示」もしくは「特定のユーザーを絞り込む」を選択し、ユーザー情報を表示させます。
3. 一覧表示右部にあるアイコンをクリックします。

登録日			
2021/01/19			

左図 7-2-1 / 右図 7-2-2

4. ユーザー情報の編集入力を行い、「登録」をクリックします。

7-3. 一括ユーザー登録

複数のユーザーを一括登録します。

「ユーザー登録・変更」をクリックし、「一括ユーザー登録」タブを開きます。



CSV、エクセルファイルから一括登録が可能です。

CSV、エクセルのテンプレートをダウンロードのうえ、登録情報を入力したものをアップロードします。

各テンプレートダウンロードボタンをクリックすると、「PersonnelInformation_sample_(excel もしくは csv).zip」というタイトルの Zip ファイルが、ご使用中の PC にダウンロードされます。中身は以下のとおりです。

図 7-3

1. 「PersonnelInformation」タイトルのテンプレート
2. Sample 画像(顔画像のサイズおよび格納方法のサンプル)

※最低限必要な情報は、「ID／氏名／生年月日／顔写真ファイル名」、また、各ユーザーに対応する顔写真(jpeg 画像)です。

※ファイルのアップロード方法、作成手順、作成時の注意事項等については、「一括登録データの作り方について(PDF)」をダウンロードし、ご参照ください。

7-4. ユーザーデータのエクスポート

本サービスに登録されているユーザーの情報を出力します。

1. 画面左部の「ユーザー登録・変更」を選択します。
2. ユーザーデータのエクスポートタブを選択し、タブを開きます。
3. 「全てを選択」もしくは「特定のユーザーを絞り込む」を選択し、表示結果をフィルタリングします。
4. Excel もしくは CSV 形式でダウンロードを選択します。
5. ご利用中の PC に、以下を含む Zip ファイルが Excel もしくは CSV 形式でダウンロードされます。

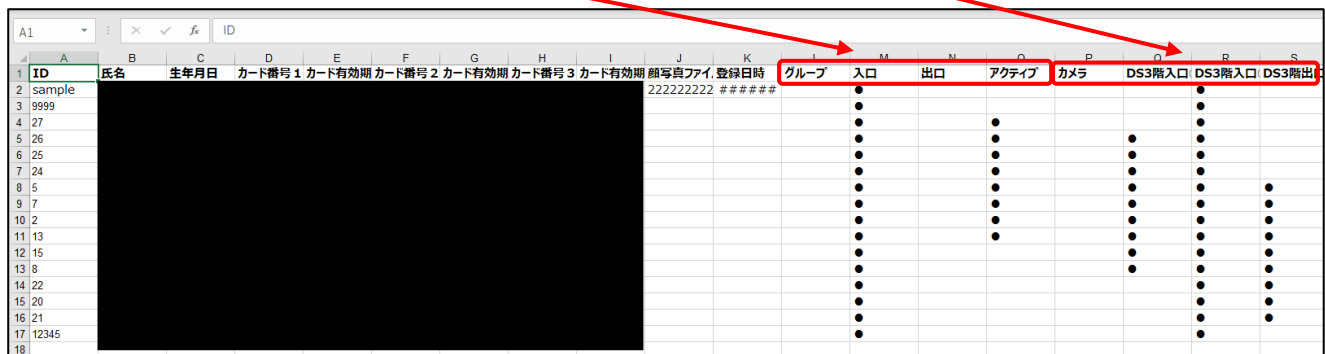


図 7-4

1. ID、氏名、生年月日、IC カード情報、顔写真ファイル名、登録日時が一覧記載された Excel もしくは CSV

◆ Excel でダウンロードした場合、下記の情報も記載されます。

各ユーザーが登録されているカメラグループ、各ユーザーが登録されているカメラ(●印で表示されます。)



ID	氏名	生年月日	カード番号 1	カード有効期 1	カード番号 2	カード有効期 2	カード番号 3	カード有効期 3	顔写真ファイル名	登録日時	グループ	入口	出口	アクティブ	カメラ	DS3階入口	DS3階入口	DS3階出口
sample									2222222222	#####	●					●		
9999											●					●		
27											●					●		
26											●					●		
25											●					●		
24											●					●		
5											●					●		●
7											●					●		
2											●					●		
13											●					●		●
15											●					●		
8											●					●		
22											●					●		
20											●					●		
21											●					●		●
12345											●					●		

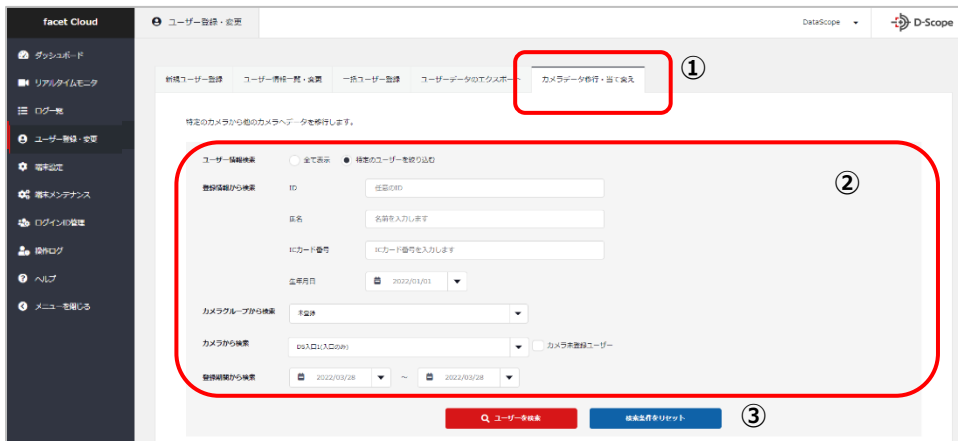
2. 各ユーザーに対応する顔写真

◆ ダウンロードされるのは、ユーザー登録用に使用した顔画像であり、当該ユーザーのログ一覧の画像全てを含むものではありません。

7-5. カメラデータ移行・当て変え

特定のカメラから他のカメラへ、ユーザーデータを移行します。

図 7-5-1



画面左部から「ユーザー登録・変更」を選択します。

1. 「カメラデータ移行・当て換え」タブを開きます。(①)
2. 移行元データの保存されているカメラの設定を呼びだします。図②部のフィルタリング機能を使用します。

◆フィルタリング機能(②)

- ・**カメラグループ選択**：プルダウンから、移行元カメラが所属するカメラグループを選択すると、グループに登録されている複数の端末を自動的に選択することができます。
- ・**移行元カメラを選択**：チェックボックスにチェックを入れることによって、各端末を個別に選択することができます。

3. 「登録ユーザーを確認」ボタンをクリックすると、選択した端末に登録されているユーザーのデータ一覧が表示されます。データを移行したいユーザーのチェックボックスにチェックを入れます。

4. 画面下部までスクロールダウンし、「選択件数」が、上部ユーザー一覧で選択したユーザー数と一致することを確認します。(④)

5. 移行したいカメラ、もしくはカメラグループを選択し、旧データの取り扱いおよび ID 重複データの取り扱いを決定します。(⑤)

6. 「ユーザーデータを移行」ボタンをクリックし、移行先端末に移行元端末のユーザーデータを移行します。(⑥)



図 7-5-2

- ◆**旧データ**：①消去せずに追加：移行先端末に存在する全ユーザーデータを消去せずに、移行元端末の選択データだけを追加する。/②全て消去して入れ替え：移行先端末に存在する全ユーザーデータを消去して、移行元端末の選択データに入れ替える。
- ◆**ID 重複データ**：移行元端末に対するユーザー登録の際にユーザーに付与した ID と同じ ID が、移行先の端末に存在する場合にデータを上書きするか、移行先端末のデータを優先させる(上書きしない)かを、選択します。

7-6. カメラデータの移行・当て替え(個別ユーザーに対する割り当てカメラの変更(削除・追加))

facet cloud では、ユーザーひとりひとりに割り当てられたカメラを変更することができます。



1. 「カメラデータ移行・当て替え」に遷移。
カメラの当て替えを行いたいユーザーをフィルタリング機能で抽出します。(図 7-6-1)
2. 当該ユーザー欄の右横にある、「編集」アイコンをクリックします。(図 7-6-2)

図 7-6-1



図 7-6-2

3. ユーザーの編集画面から、当該ユーザーに割り当てるカメラを選択します。この際、左側のボックスには現在当該ユーザーが割り当てられているカメラが表示されています。(図 7-6-3)



4. 右側のボックスから割り当てたいカメラを選択・削除します。
5. 「実施内容」で編集内容を確認します。(図 7-6-4)

「ユーザーデータを移行」をクリックして、個別ユーザーに対する割り当てカメラの編集を完了します。



図 7-6-3

図 7-6-4

8. 端末設定

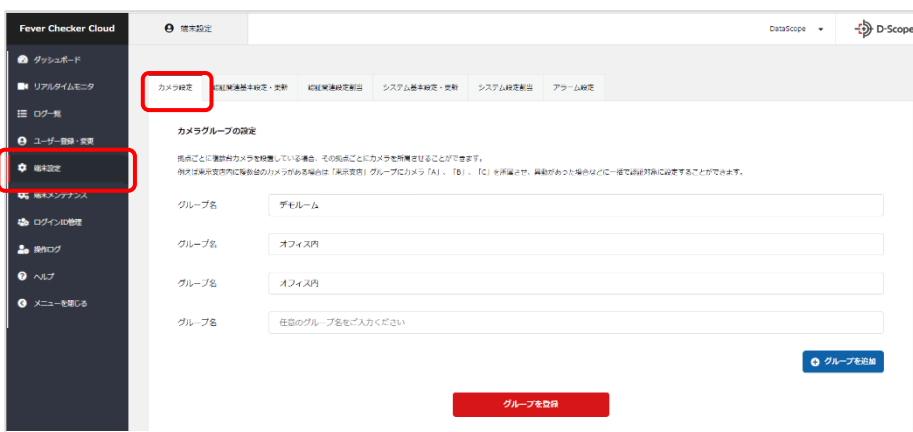
Facet Cloud の端末設定においては、カメラのコントロールおよび認証関連の設定を行うことができます。

8-1. 端末画面タブ一覧

タブ名	内容	項目
カメラグループ設定	カメラグループ設定では、カメラグループの作成および編集することが可能です。	8-2
カメラ設定	カメラ設定では、各端末のシリアル番号に基づくカメラ名称やグループの設定を行うことができます。	8-3
認証関連基本設定・更新	認証関連基本設定・更新タブにおいては、顔認証・マスク検出・温度検知に関する On/Off や閾値設定を、プリセットとして保存・編集することができます。	8-4
認証関連設定割当	認証関連設定割当タブにおいては、認証関連基本設定・更新において設定したプリセットを、各端末やカメラグループを指定して割り当てることができます。	8-5
システム基本設定・更新	システム基本設定・更新タブにおいては、端末の日付や時刻の設定をを、プリセットとして保存・編集することができます。	8-6
システム設定割当	システム設定割当タブにおいては、システム基本設定・更新において設定したプリセットを、各端末またはカメラグループを選択して割り当てることができます。また、端末に対してファームウェアのアップデートを行うことができます。	8-7
アラーム設定	アラーム設定タブにおいては、顔認証失敗／ブラックリスト／温度異常／マスク未装着についてのアラート On/Off、および発報先メールアドレスを設定することができます。	8-8

8-2. カメラグループ設定

カメラ設定では、カメラグループの作成および各端末のシリアル番号に基づくカメラ名称の設定を行うことができます。



◆カメラグループの設定

画面左部メニューの「端末設定」を選択し、「カメラ設定」タブを選択します。

グループ名に、任意の名前を入力し、

「グループを登録」をクリックします。

グループを追加する場合には、

「グループを追加」をクリックします。

図 8-2-1

8-3. カメラ設定

◆カメラ検索

シリアル番号もしくは、
カメラ端末が属するカメラグループをプルダウンから選択してください。
「検索実行」をクリックして設定を保存します。

図 8-3-1



◆カメラ端末のバージョン取得・登録情報編集

「取得」をクリックすると対象の端末の FW バージョンが「バージョン番号」に記載されます。
「編集」をクリックすると図 8-3-4 のように編集画面へ遷移し登録情報を編集することができます。

図 8-3-3

検索結果									
ヒット件数: 33 件 表示件数: 20 件ごと (1/2) 次ページ									
No	シリアルNo	カメラグループ	カメラ名称	APB	APB状態	型番	バージョン番号	最終取得日時	ver番号/型番
1	5L07X060002	デモルーム	デモ1号機	無効		STD-SMA0721-E-JD05			取得 編集
2	5L90X010461	デモルーム	デモ2号機	無効		STD-SA020701-D			取得 編集

図 8-3-4



編集画面では「名称」、「グループ」、「No」を指定します。
※「No」は facetCloud でのカメラ並び順番号となります

図 8-3-5



設定を保存するには、「設定反映」を押します。

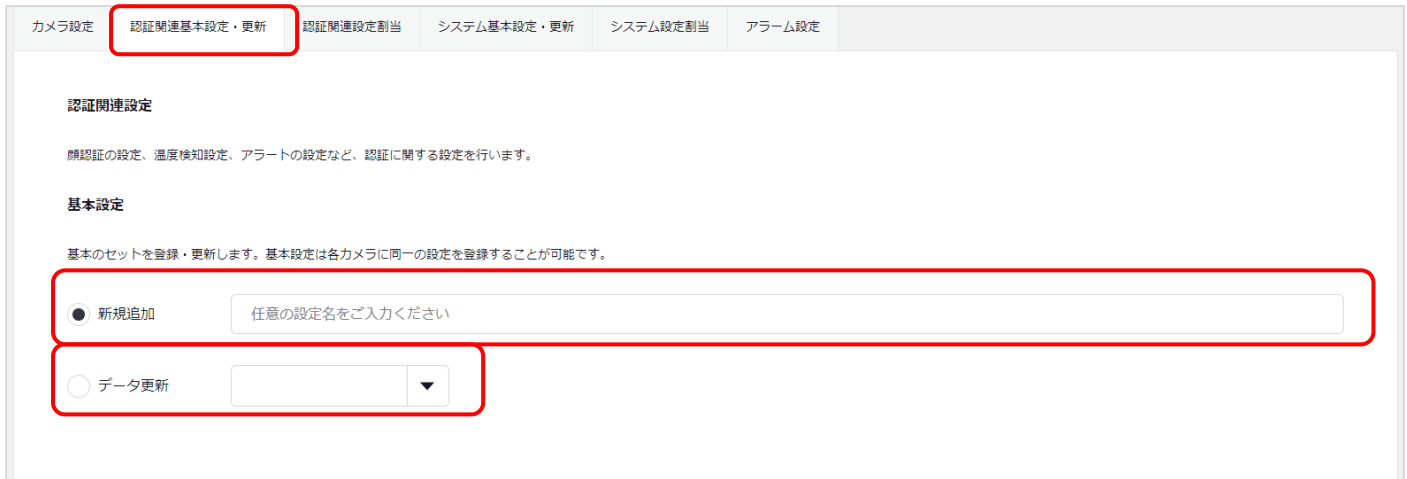
8-4. 認証関連基本設定・更新

認証関連基本設定・更新タブにおいては、顔認証・マスク検出・温度検知に関する On/Off や閾値の設定を行うことができます。また、設定をまとめてプリセットとして登録することや、すでに登録されたプリセットに対して項目の編集を行うことができます。

◆認証関連設定-基本設定

顔検出・マスク検出・温度検知に関する認証閾値のセットをまとめてプリセットとして登録します。

図 8-4-1



カメラ設定 **認証関連基本設定・更新** 認証関連設定割当 システム基本設定・更新 システム設定割当 アラーム設定

認証関連設定

顔認証の設定、温度検知設定、アラートの設定など、認証に関する設定を行います。

基本設定

基本のセットを登録・更新します。基本設定は各カメラに同一の設定を登録することが可能です。

☒ 新規追加 任意の設定名を入力ください

☐ データ更新 [] ▼

1. 新規にプリセットを追加する場合には、「新規追加」欄に任意のプリセット名を入力してください。

例) 入口 1 用、〇〇部署用、など

2. 既存のプリセットを編集する場合には、データ更新のチェックボックスにチェックが入った状態で、プルダウンからプリセットを選択し、設定を呼び出してください。

既存のプリセットを呼び出した場合、画面下部の認証関連項目の設定が、当該プリセットで登録した値に切り替わります。

◆ディスプレイ表示設定

ディスプレイ表示

会社名/団体名/イベント名など

認識人物の情報

カメラの情報

氏名表示

☒ する ☐ しない

ID表示

☒ する ☐ しない

登録写真表示

☒ する ☐ しない

IPアドレス表示

☒ する ☐ しない

シリアルNo表示

☒ する ☐ しない

ファームウェアバージョン表示

☒ する ☐ しない

① 会社／団体名／イベント名など

Face FC 端末のディスプレイ上に、施設名やイベント名などを表示させることができます。(自由入力)

② 認識人物の情報

Face FC 端末のディスプレイ上に、カメラが人物の認識した際に「表示する／しない」情報の選択をします。

表示させたくない情報は、「しない」チェックボックスを選択してください。

③ カメラの情報

Face FC 端末のディスプレイ上に、カメラに関する情報で「表示する／しない」情報の選択をします。

表示させたくない情報は、「しない」チェックボックスを選択してください。

◆顔認証設定



顔認証

① 認証成功/失敗時のディスプレイ通知設定

成功時のメッセージ(空登録の場合は通知無し)

成功時のメッセージ背景色

青

失敗時のメッセージ(空登録の場合は通知無し)

※ メッセージ表示の背景色を選択できます。

認証失敗

失敗時のメッセージ背景色

赤

② 認証成功/失敗時の音声再生設定

成功時の音声再生

☒ する ☐ しない

失敗時の音声再生

☒ する ☐ しない

③ 認証精度

識別距離(0.5メートルから2メートルの範囲)

1.0

識別レベル

写真/ビデオの偽装を正確に判別

写真/ビデオの偽装を判別しない

写真/ビデオの偽装を部分的に判別する

写真/ビデオの偽装を正確に判別する

識別間隔秒(0秒~10秒)

0

識別比較閾値(0~100)

80

マスク検出時の認識比較閾値(0~100)

80

図 8-4-2

① 顔認証成功／失敗時のディスプレイ通知設定

端末が顔認証に成功した（個人を識別できた）場合のメッセージを編集します。
デフォルトでは、「認証成功」となっています。

※ マスクをつけたまま認証された際の認識閾値を設定できます。

端末が顔認証に失敗した（個人を識別できなかった）場合のメッセージを編集します。

② 認証成功／失敗時の音声再生設定

端末が顔認証に成功もしくは失敗した場合の音声再生を設定します。
音声内容を変更することはできません。

③ 認証精度

認証精度をコントロールします。「識別距離」は、顔認証のために端末から必要な距離の選択です。

「識別レベル」は、生体認証のレベルをコントロールすることで、生体以外の画像や、Live 映像以外の動画を用いた偽装認証の可能性を低減させるための設定です。（部分的もしくは正確に、を選択すると本人認証精度が落ちることがあるため、ご注意ください。）

- ・写真／ビデオの偽装を判別しない
- ・写真／ビデオの偽装を部分的に判別：端末が認識しているのが Live 映像か否かを判別。
- ・写真／ビデオの偽装を正確に判別：端末が認識しているのが Live 映像か否かおよび動体が熱を発しているかを判別。

「識別間隔」は、端末システムが顔認証を行う頻度を速度で表したものです。0(秒)に設定すると、端末の顔フレームに人間の顔がおさまる機会ごとに顔認証を行います。1(秒)以上を設定すると、1秒間隔で顔認証を行い、結果を測定します。

「認識比較閾値」では、登録された顔写真と比較して類似度が何度以上であれば本人として認証するかの閾値を設定します。

◆マスク検出



図 8-4-3

- ① **入場判定**…マスク着用有無によって入場判定を行うかを選択します。また、マスク着用と非着用のどちらを許容するかを選択します。
- ② **マスク検出モード**…マスクがどの程度顔を覆っている場合を許容するかを選択します。
- ③ **マスク装着者の通知メッセージ（未登録の場合には通知無し）**…検出モードで選択した条件でマスクを着用している個人に対して表示されるメッセージを編集します。任意のメッセージを入力してください。
- ④ **マスク装着者の通知テキスト背景色**…マスク検出モードで選択した条件でマスクを着用している個人に対して表示されるメッセージの背景色を編集します。
- ⑤ **マスク非着用者の通知メッセージ(未登録の場合には通知なし)**…マスク検出モードで選択した条件でマスクを着用していない個人に対して表示されるメッセージを編集します。任意のメッセージを編集してください。
- ⑥ **マスク非着用者の通知テキスト背景色**…マスク検出モードで選択した条件でマスクを着用していない個人に対して表示されるメッセージの背景色を選択します。

◆温度検出



温度検出

有効/無効 ☒ 温度検知を有効にする ☐ 温度検知を無効にする

入場判定 温度異常が検知された人 ▼

温度検出のディスプレイ通知設定

温度正常者の通知メッセージ(空登録の場合は通知無し)
%℃ 温度正常

温度異常者の通知メッセージ(空登録の場合は通知無し)
%℃ 温度異常

温度検出の音声通知設定

温度正常者の音声通知
☒ する ☐ しない

温度異常者の音声通知
☒ する ☐ しない

温度検知設定

正常温度設定(デフォルト: 35.5~37.3)
35.5 ~ 37.3

温度補正(デフォルト: 0.0)
0.0

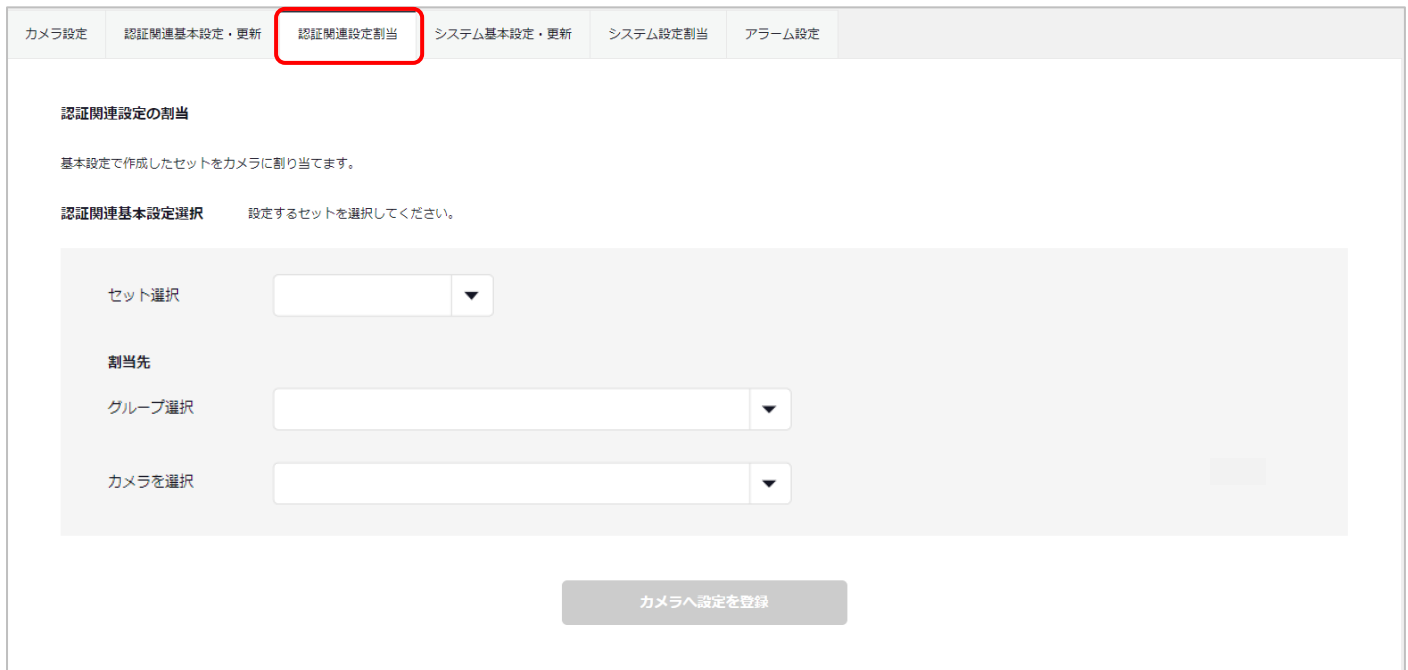
図 8-4-4

- ① **有効／無効**…温度検知の有効無効を選択します。
- ② **入場判定**…異常温度が検出された人物の入場判定を行うか否かを選択します。
- ③ **温度検知のディスプレイ通知設定**…温度正常者の通知メッセージと、温度異常者の通知メッセージ(いずれも空登録の場合は通知無し)を自由入力します。初回時は、初期値が既に入力されています。
- ④ **温度検出の音声通知設定**…温度が正常または異常である人物を検出した際の音声通知 On/Off を選択します。
- ⑤ **温度検知設定**…「正常温度設定」では、何度から何度までを正常温度とするかを設定します。(表示は摂氏(℃)です。)「温度補正」では、端末が検知する温度および末画面に表示される温度に対して補正をかける場合の調整を設定します。

8-5. 認証関連設定割当

認証関連設定割当タブにおいては、認証関連基本設定・更新において設定したプリセットを、各端末やカメラグループを指定して割り当てることができます。(次頁に続く)

「認証関連基本設定選択」にて、8-4 認証関連基本設定・更新タブで作成したプリセットを、当該プリセットを割り当てたい端末に対して適用します。



カメラ設定 認証関連基本設定・更新 **認証関連設定割当** システム基本設定・更新 システム設定割当 アラーム設定

認証関連設定の割当

基本設定で作成したセットをカメラに割り当てます。

認証関連基本設定選択 設定するセットを選択してください。

セット選択 ▼

割当先

グループ選択 ▼

カメラを選択 ▼

カメラへ設定を登録

図 8-5

- ① 「セット選択」欄のプルダウンから、割り当てたいプリセットを呼びだします。
- ② 「割当先」欄の「グループ選択」、「カメラを選択」で、①で呼びだしたプリセットを割り当てる端末を選択し、「カメラへ設定を登録」をクリックし、プリセットを端末に割り当てます。

8-6. システム基本設定・更新

システム基本設定・更新タブにおいては、端末の日付や時刻の設定を行うことができます。



図 8-6-1

- ① 新しいプリセットを登録する場合には、「基本設定」欄の「新規追加」チェックボックスにチェックを入れ、任意のプリセット名を入力します。
- ② 既に登録済のプリセットデータを編集する場合には、「データ更新」チェックボックスにチェックを入れ、プルダウンから編集したいプリセットを呼びだします。呼び出したプリセットの情報は、画面下部に自動表示されます。

◆カメラから設定を読み込む

特定の端末の設定を呼び出す場合には、「基本設定」欄ではなく、その下の「カメラから設定を読み込む」欄のグループとカメラを選択し、個別のカメラ端末自体の設定を呼び出します。

◆基本設定

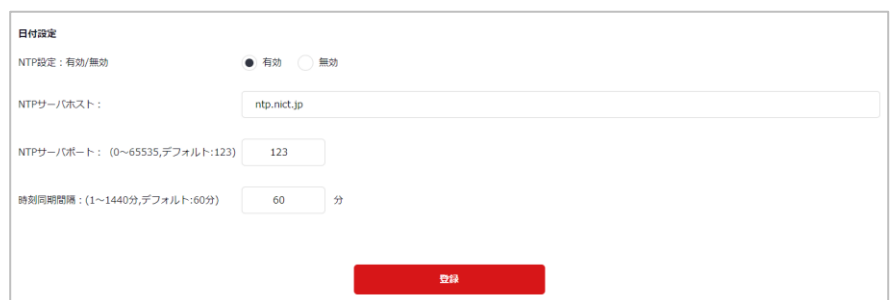
8-6-2



- ・音声ボリューム：端末の音声の大きさ
- ・画面の明るさ：端末画面の明るさ
- ・LED 照明の明るさ：端末上部 LED 照明の明るさ
- ・スタンバイに入る時間：端末画面がスタンバイに入るまでの時間

◆日付設定

8-6-3



- ・NTP 設定：NTP(時刻同期プロトコル)の On/Off を設定します。
- ・NTP サーバホスト：NTP サーバホストを入力します。
- ・NTP サーバポート：NTP サーバポートの番号を入力します。
- ・時刻同期間隔：時刻同期の間隔を数字で入力します。

8-7. システム設定割当

システム設定割当タブにおいては、システム基本設定・更新において設定したプリセットを、各端末またはカメラグループを選択して割り当てるができます。また、端末に対してファームウェアのアップデートを行うことができます。

◆システム基本設定選択



カメラ設定 | 認証関連基本設定・更新 | 認証関連設定割当 | システム基本設定・更新 | **システム設定割当** | アラーム設定

システム設定

システム基本設定・更新で作成したセットを、カメラに割り当てます。

システム基本設定選択 設定するセットを選択してください。

セット選択

割当先

グループ選択

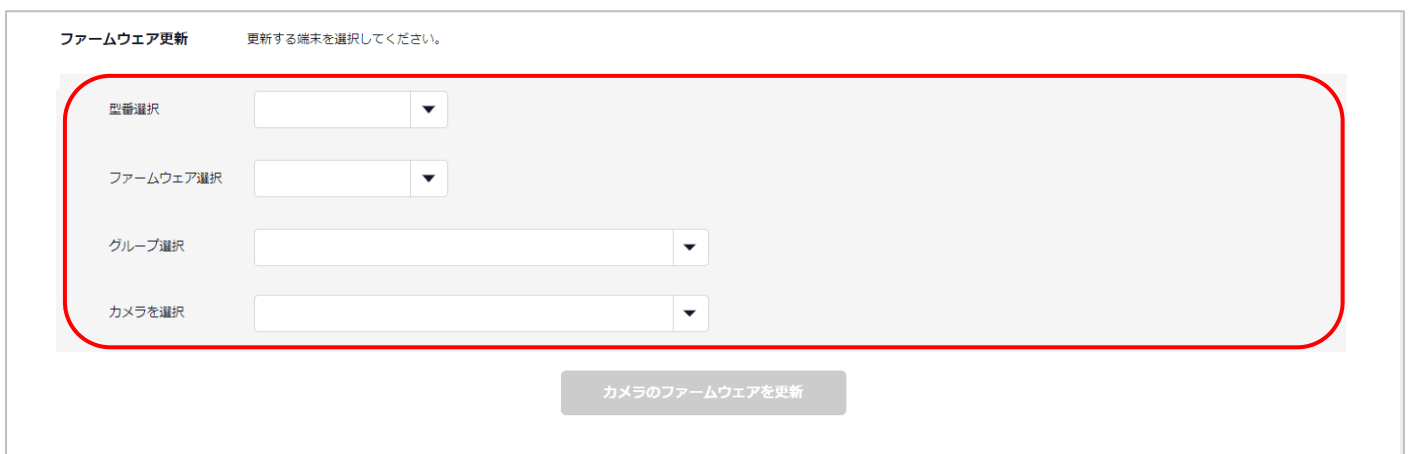
カメラを選択

カメラへ設定を登録

図 8-7-1

1. システム基本設定選択の「セット選択」欄横のプルダウンにて、システム基本設定・更新タブで作成したプリセットを呼び出します。
2. 「割当先」欄の「グループ選択」、「カメラを選択」欄にて、手順 1 で呼び出したプリセットを割り当てたい端末を選択します。
3. 「カメラへ設定を登録」ボタンをクリックし、設定を保存します。

◆ファームウェア更新



ファームウェア更新 更新する端末を選択してください。

型番選択

ファームウェア選択

グループ選択

カメラを選択

カメラのファームウェアを更新

図 8-6-2

1. 「型番選択」欄のプルダウンにおいて、ファームウェア更新をしたい端末の型番を選択します。
2. 「ファームウェア選択」欄のプルダウンにおいて、端末に割り当てたいファームウェアバージョンを選択します。
3. 「グループ選択」もしくは「カメラを選択」欄にて、当該ファームウェアを割り当てる端末を選択します。
4. 「カメラのファームウェアを更新」ボタンをクリックし、設定を保存します。

※型番選択を行うとその型番に適用できるファームウェアが絞り込まれます。

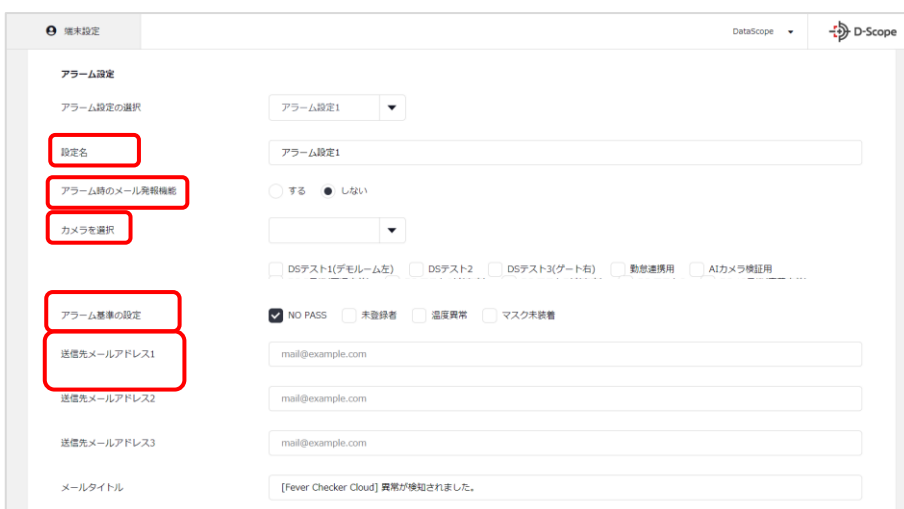
8-8. アラーム設定

アラーム設定タブにおいては、顔認証失敗 ブラックリスト 温度異常 マスク未装着についてのアラート On/Off、および発報先メールアドレスを設定することができます。



図 8-8-1

プルダウンから任意の項目を選びます。（アラーム設定 1 ～ 5）



【アラーム設定】

◆設定名

アラーム設定に名前をつけます。

◆アラーム時のメール発報機能

メール発報の On/Off を切り替えます。

◆カメラを選択

プルダウンもしくは個別カメラのチェックボックスにチェックを入れて、どのカメラに対する設定かを決定します。

図 8-8-2

◆アラーム基準の設定

どの条件が満たされたときに、アラームを出すかを選択します。複数の条件を同時に選択することもできます。

◆送信先メールアドレス

アラーム時にメール発報を行う場合に、発報先の E-メールアドレスを指定します。

◆メールタイトル

アラームメール発報時のメールタイトルを設定します。



メールタイトル

[Fever Checker Cloud] 異常が検知されました。

顔認証デバイスにおいて、下記の通りの異常が検知されました。

シリアルNo : 【シリアルNo】
 カメラ : 【カメラ名称】
 認識日時 : 【認識日時】

PASS : 【PASS結果】
 温度 : 【温度測定結果】
 マスク : 【マスク判定結果】
 登録有無 : 【登録者判定結果】
 ユーザーID : 【ユーザーID】
 ユーザー氏名 : 【ユーザー氏名】

3つよりも多くのメールアドレスをご利用になりたい場合には、メーリングリストをご活用ください。

メールをテスト送信

登録

◆メール本文

アラームメールの中身がテンプレート形式で表示されています。

用途に基づいて、任意に編集することができます。

◆メールのテスト送信

ボタンをクリックして、指定したメールアドレスにテストメールを送信します。

図 8-8-3

最後に「登録」ボタンをクリックして、設定を保存します。



アラーム設定

アラーム設定の選択

設定を選択

設定を選択

テスト

アラーム設定2

アラーム設定3

アラーム設定4

アラーム設定5

次回からアラーム設定タブに遷移すると、保存した設定を選択できるようになります。

図 8-8-4

9. ログイン ID 管理

ログイン ID 管理は、メニューの表示制限を行う権限を作成して、ログイン ID を新規で作成することができます。

9-1. 権限作成

権限作成タブでは、権限の作成及び編集を行うことができます。作成できる権限は最大 10 個までです。



① 新規に権限を追加する場合には、「新規追加」欄に任意のプリセット名を入力してください。

例) オペレーター、●●支店管理部、など

② 既存の権限を編集する場合には、データ更新のチェックボックスにチェックが入った状態で、プルダウンからプリセットを選択し、設定を呼び出します。既存のプリセットを呼び出した場合、画面下部(④)の権限関連項目の設定が、当該プリセットで登録した値に切り替わります。



③ 既存の権限を削除する場合には、プルダウンからプリセットを選択し、右に表示される×ボタンをクリックします。



④権限にて表示させたいメニューに対してチェックを入れて、「権限を登録」を押してください。

※「端末管理→カメラ設定」、「ログイン ID 管理」については admin 権限の ID (facetCloud 加入時に発行される adminID) のみしか操作できません。

9-2. 新規登録

新規登録タブでは、権限を指定して、ログイン ID の新規作成を行うことができます。作成できる ID は、admin 権限の ID (facetCloud 加入時に発行される adminID) の「_(アンダーバー)」に続く ID となります。

例) admin 権限の ID が「datascope」なら、作成できる ID は、「datascope_taro」、「datascope_hanako」など

権限作成

新規登録

変更・削除

新規登録

権限を指定してログインIDを作成することができます。
作成できるログインIDは、「datascope_」から始まるIDのみ作成できます。

ログインID *

①

パスワード *

②

パスワード (確認) *

③

氏名 *

④

カメラグループ (任意)

⑤ ▼

権限 *

⑥ ▼

※カメラグループを指定した場合は、選択したカメラグループに属するカメラが表示されなくなります。
加えて、ユーザ登録・カメラ設定・アラート設定のメニューが非表示になります。

ログインIDを登録

⑦

- ① 作成する ID を入力します。
※「adminID_」に続く ID を入力します。
- ② パスワードを入力します。
※8 文字以上
- ③ 確認用としてパスワードを再度入力します。
※8 文字以上
- ④ 「氏名」の情報を入力します。
- ⑤ カメラグループを指定することで、作成した ID に対してカメラの閲覧制限を行うことができます。作成した ID は、指定したカメラグループのカメラのみしか閲覧できなくなります。

※カメラグループを指定した場合は、ユーザー登録・カメラ設定・アラート設定のメニューが強制的に非表示になります。
- ⑥ 「権限」を指定します。
- ⑦ 「ログイン ID を登録」を押して、ログイン ID を作成します。

9-2. 変更・削除

変更・削除タブでは、作成したログイン ID の変更・削除を行います。

権限作成 新規登録 変更・削除

変更・削除

ログインIDの変更・削除を行います。

ログインID

氏名

権限

検索実行

① 「ログイン ID」、「氏名」、「権限」を指定して、ログイン ID を検索します。

検索結果

ヒット件数: 1 件 表示件数: 20 件ごと (1/1)

ログインID	氏名	カメラグループ	権限		
datascope_taro	スコープ太郎		オペレーター		

ヒット件数: 1 件 表示件数: 20 件ごと (1/1)

② 検索結果に対象のログイン ID が表示されます。

③ 変更画面に遷移します。(⑤参照)

④ ログイン ID の削除が行えます。

ログインIDの変更

ログインID datascope_taro

パスワード

パスワード (確認)

氏名

カメラグループ

権限

閉じる 設定反映

⑤ パスワード、氏名、カメラグループ、権限の再設定が行えます。設定が完了すれば「設定反映」をクリックします。

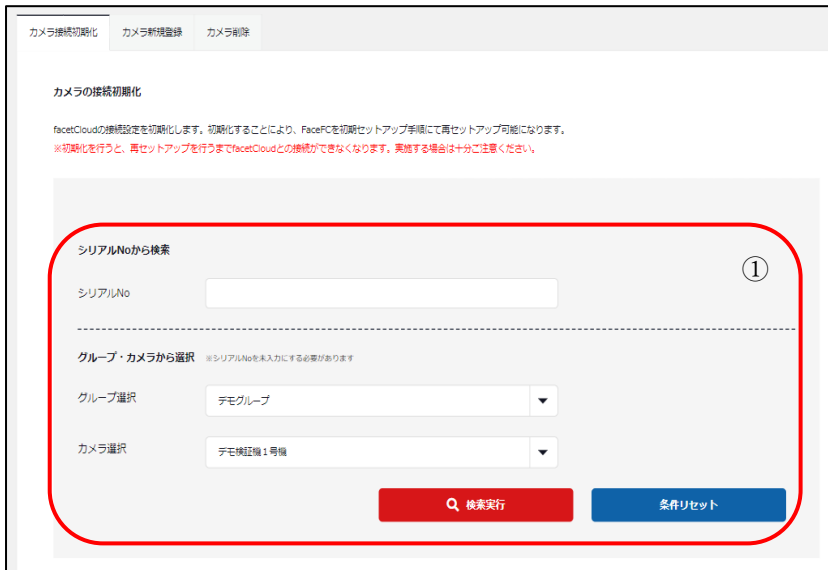
10. 端末メンテナンス

端末メンテナンスでは、本サービスに接続している Face FC の初期化や、新規登録・削除を行うことができます。

facetCloud サービスに新規で端末を追加したい場合や、故障によりデバイスを交換する際にご活用いただけます。

10-1. カメラ接続初期化

カメラ接続初期化では本サービスと Face FC との接続の初期化を行います。



① 初期化する Face FC の「シリアル No」もしくは「グループ・カメラ」を指定して端末を検索します。条件をリセットすることも可能です。

※検索時に、シリアル No を入力すると、グループ・カメラ選択は強制的に非活性化します。



No	シリアルNo	カメラグループ	カメラ名	初期化
3	SL06X110096	デモグループ	デモ検証機	初期化

② 検索実行結果が表示されます。

③ 対象の Face FC の初期化が行えます。

※初期化後は Face FC 管理画面の「プラットフォーム接続」→「WebSocket 登録」にてサーバアドレスを再設定することで再度接続することができます。

10-2. カメラ新規登録

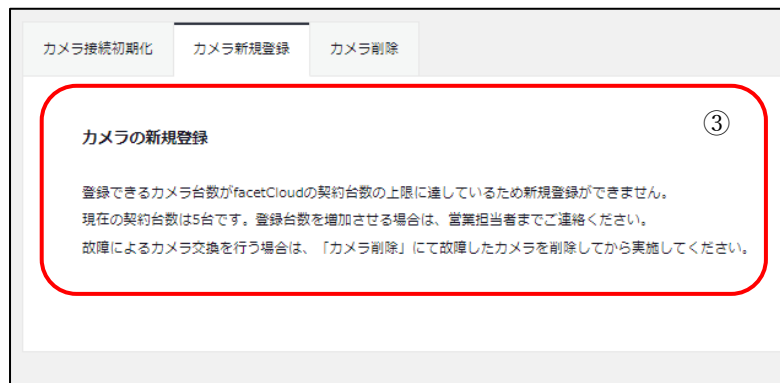
カメラ新規登録では、Face FC を本サービスへ新しく登録することができます。

※ver3.0 より新規登録時に登録できる項目（カメラ名称、カメラグループ）が増えました。



① 登録したい Face FC のシリアル No の入力と型番を選択し「登録」をすることができます。任意項目としてカメラ名称、カメラグループを登録することもできます。

②現在の契約台数と、残り登録可能台数が表示されます。



③ 規定の端末登録台数へ達している場合は、新規登録はできない旨の表示がされます。

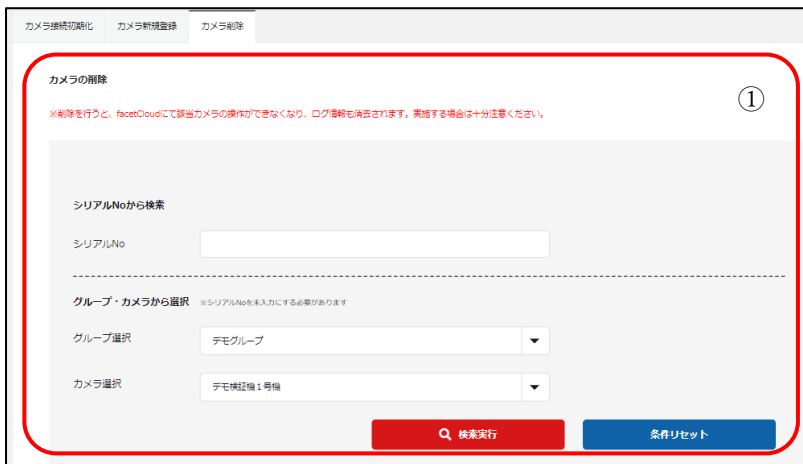
※登録した端末を本サービスに接続する場合は、Face FC 管理画面の「WebSocket 登録」にてサーバアドレスを設定することで接続されます。

10-3. カメラ削除

カメラ削除は、本サービスに接続もしくは登録されている Face FC を削除することができます。

※カメラ削除を行うと、削除された FaceFC に関する一切の情報の確認できなくなります。

削除する場合は、ログデータの csv 出力機能等を活用しながら、削除する FaceFC の情報取得漏れが無いか十分にご確認のうえ消去ください。



① 削除する Face FC の「シリアル No」もしくは「グループ・カメラ」を指定して端末を検索します。条件をリセットすることも可能です。

※検索時に、シリアル No を入力すると、グループ・カメラ選択は強制的に非活性化します。



No	シリアルNo	カメラグループ	カメラ名称	操作
3	51061110096	デモグループ	デモ検証機	削除

② 検索実行結果が表示されます。

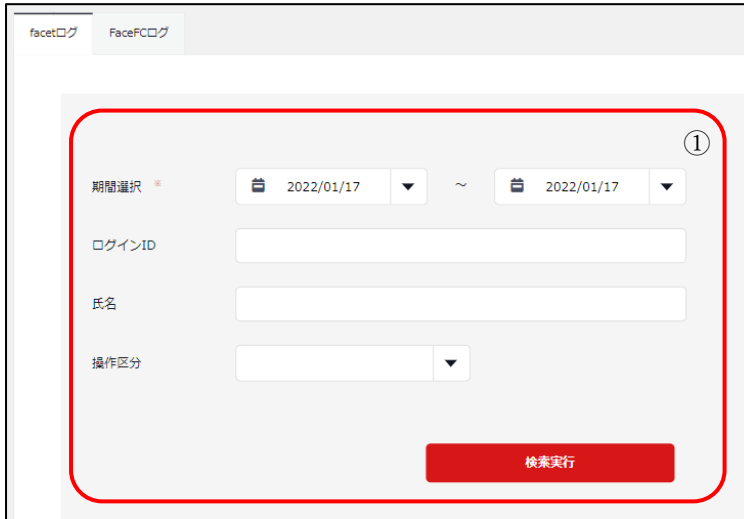
③ 「削除」ボタンにて削除を行うことができます。

11. 操作ログ

操作ログでは、本サービスでの操作ログと接続されている Face FC のログを確認することができます。

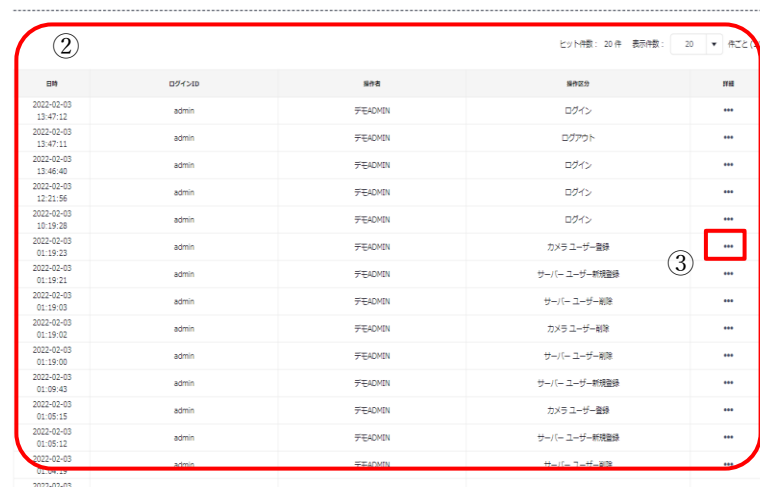
11-1. facet ログ

facet ログでは、本サービスの操作ログを確認することができます。



① 「期間選択」、「ログインID」、「氏名」、「操作区分」を入力、選択して「検索実行」します。

※必須項目は期間のみとなります。

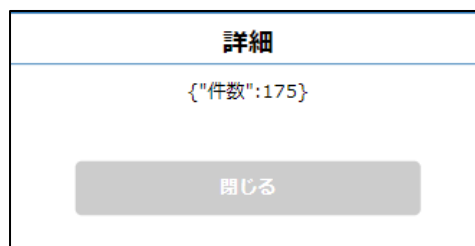


日時	ログインID	操作者	操作区分	詳細
2022-02-03 13:47:12	admin	デモADMIN	ログイン	...
2022-02-03 13:47:11	admin	デモADMIN	ログアウト	...
2022-02-03 13:46:40	admin	デモADMIN	ログイン	...
2022-02-03 12:21:56	admin	デモADMIN	ログイン	...
2022-02-03 10:19:28	admin	デモADMIN	ログイン	...
2022-02-03 01:19:23	admin	デモADMIN	カメラユーザー選択	...
2022-02-03 01:19:21	admin	デモADMIN	サーバーユーザー新規登録	...
2022-02-03 01:19:03	admin	デモADMIN	サーバーユーザー削除	...
2022-02-03 01:19:02	admin	デモADMIN	カメラユーザー削除	...
2022-02-03 01:19:00	admin	デモADMIN	サーバーユーザー削除	...
2022-02-03 01:09:43	admin	デモADMIN	サーバーユーザー新規登録	...
2022-02-03 01:09:15	admin	デモADMIN	カメラユーザー選択	...
2022-02-03 01:09:12	admin	デモADMIN	サーバーユーザー新規登録	...
2022-02-03 01:09:11	admin	デモADMIN	サーバーユーザー新規登録	...

② 検索実行結果が表示されます。

③ 「詳細」の「…」ボタンで操作の詳細の確認をすることができます。

例) ”ログ一覧 CSV 出力”ログの場合は、次の参考画像のように出力した件数の確認ができます。

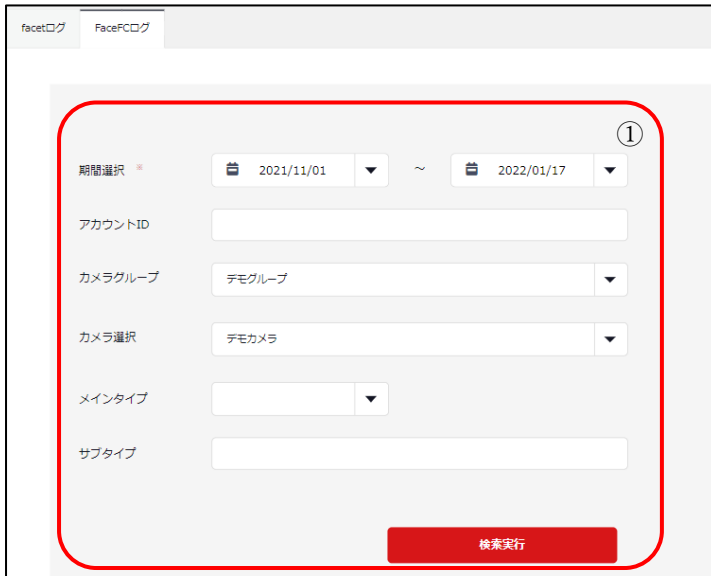


○ 参考画像

「ログ一覧 CSV 出力」時の詳細確認時の画面

11-2. FaceFC ログ

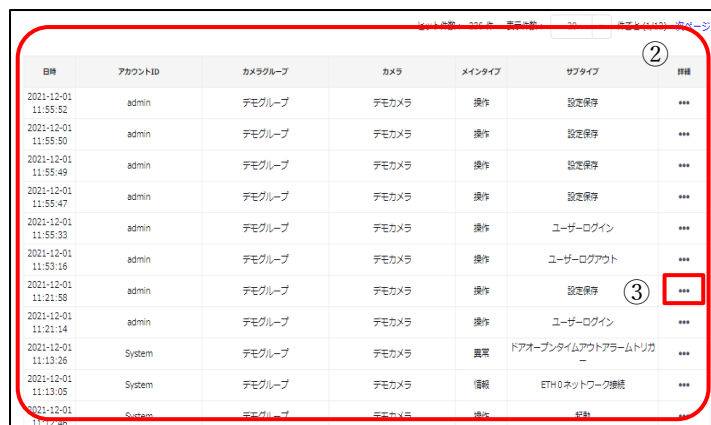
Face FC ログでは、本サービスに接続されている Face FC での操作ログを確認できます。



検索条件入力画面。①で囲まれた検索条件入力欄には、期間選択（2021/11/01 ~ 2022/01/17）、アカウントID、カメラグループ（デモグループ）、カメラ選択（デモカメラ）、メインタイプ、サブタイプがあり、検索実行ボタンが配置されている。

① 「期間選択」、「アカウント ID」、「カメラグループ」、「カメラ選択」、「メインタイプ」、「サブタイプ」を指定し「検索実行」を行う。

※必須項目は期間のみとなります。



②で囲まれた検索結果一覧表。表の右端には「詳細」ボタン（…）があり、③で囲まれている。

日時	アカウントID	カメラグループ	カメラ	メインタイプ	サブタイプ	詳細
2021-12-01 11:55:52	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	設定保存	…
2021-12-01 11:55:50	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	設定保存	…
2021-12-01 11:55:49	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	設定保存	…
2021-12-01 11:55:47	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	設定保存	…
2021-12-01 11:55:33	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	ユーザーログイン	…
2021-12-01 11:53:16	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	ユーザーログアウト	…
2021-12-01 11:21:59	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	設定保存	…
2021-12-01 11:21:14	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	ユーザーログイン	…
2021-12-01 11:13:26	System	デモグループ	デモカメラ	異常	ドアオープンタイムアウトアラームトリガー	…
2021-12-01 11:13:05	System	デモグループ	デモカメラ	情報	ETH0ネットワーク接続	…
2021-12-01 11:12:46	System	デモグループ	デモカメラ	操作	起動	…

② 検索実行結果が表示されます。

③ 「詳細」の「…」ボタンで操作の詳細の確認をすることができます。

例)「設定保存」ログの場合は、次の参考画像のように出力した件数の確認ができます。



詳細確認画面。LogName: "自動再起動", RemoteIP: "127.0.0.1", Time: "2021-11-19 16:30:18" と表示され、閉じるボタンが配置されている。

○参考画像

「設定保存」時の詳細確認時画面。

12. お問い合わせ先

製品仕様、ファームウェアアップデート、その他製品に関するお問い合わせは、担当営業へお問い合わせください。（参照：1-4）

EOF.



DataScope, Inc.2022

